

福井大学学術交換協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（5月分）

留学先大学：ナポリ東洋大学
(Università degli Studi di Napoli "L'Orientale")

皆さんこんにちは。3回目の月例報告書となりました。この留学生活も残り2ヶ月を切ったので、少し寂しい感じもします。今回は家探しについての報告書となります。

[家探し]

家探しはナポリの大学に行くのであれば一番の鬼門になると思っていました。過去の先輩の報告書からも大変さが伝わってきていましたので、どこでもいいから早めに決めたいなという感じでした。

IWD (international welcome desk) という留学生の住居や銀行開設など生活を助けてくれる機関があるので、そこの方と話して、今の住居を決めました。僕の場合は、一つしか空いている場所がないと言われたので、選択肢はなかったです。他の日本人の友達は何の住居を見に行っただけですが、あまり良いところがなかったようで、同じ家に住むことになりました。

zoom でミーティングを行ったのはナポリに着いてから2日後で、その日に家を見に行く事ができ、ひどいと感じた事はなかったのでその日にオーナーに連絡しました。

意外と簡単だったなと思っていたのですが、5ヶ月分の家賃を入居前にまとめて現金で払えと言われたのが、家探しの中で一番大変だったことです。先輩の報告書には入居前に2ヶ月分を要求されると書かれていたので、僕もそのつもりでいました。日本円で合計20万円超のお金を手持ちで持っているわけもなく、キャッシュパスポートも持っていなかったため、クレジットカードで払いたいことを何回も伝え、クレジットカード払いに変えてくれたのですが、限度額を超えての支払いだったのでクレジットカードで払うこともできませんでした。最終的に親に頼んで、日本から送金してもらい、家探しは終わりました。結局2週間かかり、この2週間は一番しんどかったです。

家によって、入居前に要求される金額が変わってくるので注意することが必要です。僕のようにならないためにも、出国前にクレジットカードの上限を上げた方がいいかもしれません。また、キャッシュパスポートも持っていたら、安心できます。僕はキャッシング機能のないプリペイドカードとクレジットカードしか持っていなかったため現金に困りました。現金のみのお店もありますし、友達と割り勘したときは現金を使いますので、なるべく持って行った方がいいと思います。



僕の家はシェアハウスで、部屋は1人ひとつです。キッチン、トイレ、シャワーは共用なので、あまりきれいとは言えません。特に、シャワーは詰まったり、ドアが壊れたりとあらゆるところが壊れるのですが、オーナーに伝えても動いてくれるのは一ヶ月後、二ヶ月後です。三月に壊れたシャワー室のドアはオーナーに伝えてから、そろそろ三ヶ月になろうとしています。日本での常識は通用しないので、毎日が驚きでいっぱいです。

下の写真はキッチンです。冷蔵庫もあるのが分かりますが、冷蔵庫も共用なので、使えるのは一段だけです。非常に不便なように思えますが、買いすぎを防ぐことができるので、結果的に良い方向に向いているのではないかなと思っています。



どんな家であろうと慣れば勝ちなので、心配しなくても大丈夫です。僕もこの日本では想像できないような家に2週間でなにも感じなくなりました。

5月の半ばで、すでに30度を超えているので、体調管理には気を付けてナポリの夏も楽しみたいと思います!! Arrivederci!!